

望まぬ妊娠 悩まず相談

「望まない妊娠」について相談の「妊娠そつとのOSS山梨」を運営する社会福祉法人「子育ち・発達の里」(甲斐市)は、相談者が妊娠しているかどうかを病院で検査する費用を負担している。はつきりしないまま時間がたつと、人工妊娠中絶ができなくなることや、母親や胎児の健康にも影響が出る可能性が高いからだ。医療機関ひとつなくして孤立を防ぐ狙いもある。

妊娠そつとのOSS山梨は、2021年にスタートし、「産んでも育てる自信がない」「学校に知られたくない」といった相談にのる。対応するのは看護師や社会福祉士らで全員が女性。匿名での相談もでき、1回で答えるがでない場合でも、継続的に対応してもらえる。

同法人が費用を負担して

甲斐の社福法人

いるのは、相談者に多い若い女性の経済的な負担を減らすためだ。病院で検査を受けてもいることで女性の孤立を防ぎ、妊娠に関する十分な知識がない女性でも冷静な判断ができるようこそサポートする。

相談は、毎年数十人から百名(の)相談もでき、1回で答えるがでない場合でも、継続的に対応してもらえる。

同法人が費用を負担して

検査費負担 孤立防ぐ

的な医療保険の対象外で1万円以上かかることがあるといい、経済的な理由で病院に行かないと中絶できる時期が過ぎてしまうこともある。

匿名での相談が多いため、同法人が病院での検査費用を負担した例は少ないが、制度を利用したある女子大学生は、親や友人に相談できず、「学生生活を続けられるのか」と悩んでいたという。同法人の小田切則雄理事長は「一人で抱え込まないでほしい」と呼びかけた。

「妊娠そつとのOSS山梨」は、電話(070・1364・2410、平日午前8時半～午後6時)やホームページの相談フォーム(<https://s-khs.com/year/pregnancy/>)、ラインで相談を受け付けていく。

